

ロータリー： 変化をもたらす

No.01171 2017.11.27 第18例会

◆本日のプログラム

11月27日
内部卓話

山下 浩一 会員
山田 喜広 会員
大畑 裕一 会員

◆次回のプログラム

12月4日
クラブ年次総会

◆理事・役員(2017.7～2018.6)

会	長	大	饗	よし江
副	会	坪	井	雅弘
幹	事	樋	口	芳紀
副	幹	日	笠	伸之
理事・S.A.A.		小	菅	英司
副	S.A.A.	橘	高	正剛
会	計	末	吉	賢多
理事・職業奉仕		相	原	利行人
理事・社会奉仕		入	江	直貞
理事・国際奉仕		西	岡	井利
理事・青少年奉仕		嶋	井	房茂
理事・会員増強		花	仲	田錠
理事・プログラム		仲	田	道二
理事・親睦活動		植	田	俊弘
理事・ロータリー財団		横	山	和彦
直	前	会	長	岡
次	期	会	長	竹
				本
				本
				千
				代
				子



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

地区のスローガン 「TAKE ACTION」

クラブのスローガン 「BELIEVING IN (良いことを信じる)」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

前回11月20日の例会記録

出席の状況

会員数 54名 (内出席免除 2名) 出席者数 38名 欠席者数 16名

出席率 73.08% 前々回訂正 86.79%

欠席者 福元, 原, 原田, 日笠(常), 加戸, 鴨井, 笠原, 川本, 木本, 家守, 小松, 小松原, 丹治, 横山, (塩飽), (渡辺)

S . A . A .

大饗会長：昨日1年振りの岡山歌舞伎、浩三さんお世話になりました。少し気高い意識を持った一日になりました。

・植田親睦委員長の頑張りで今までにないクリスマス例会になることを楽しみにしています。

樋口幹事：来週例会を欠席しますので、おわびにスマイルします。

坪井会員：結婚記念日の花束をありがとうございます。いつもきれいなお花を頂き部屋が華やいています。

堀川会員：今週も所用のため早退します。内部卓話を聞きたかったのですが残念です。

4件 12,000円 (累計 580,000円)

会長報告

会長 大饗 よし江

「命を継ぐ」(臓器移植法20年)

倉敷中央病院の屋上から飛び立ったヘリの座席には脳死判定された20代の女性の心臓が納まっていた。東大病院へ届けられる予定であった。その時「娘からのクリスマスプレゼントかな」。時は12月21日、肺、肝臓、腎臓と次々に運ばれていくボックス。1つ1つに手を当てて「言ってもらいたい」「頑張ってるね」と声をかけて送り出す母の姿に涙した看護師さんの思いが痛い程伝わってくる記事でした。



幹事報告

幹事 樋口 芳紀

① 本日の卓話の資料を配付しております。

② 明日11月21日(火)18:30より「割烹かどや」において、「第2回IDM」を開催いたしますので、出席予定の皆様はよろしくお願いたします。

③ 他クラブ月報、週報を回覧いたします。

④ 熊野会員、くれぐれもお体に気をつけて、これからも頑張ってください。いい思い出をたくさんありがとうございました。知り合うことが出来まして大変嬉しく思っております。



例会プログラム

内部卓話

プログラム委員会 委員長 仲田 錠二

本日のプログラムは内部卓話です。今年度は例会の中で内部卓話という形で皆様にお話して頂く機会を設けております。お一人、8分間の持ち時間がありますのでその中で、仕事のこと、趣味、最近気になる世の中の話など、お話しする内容は自由です。今後は順次、順番が回ってきますので事前に話す内容を考えて頂ければと思います。

●内部卓話

高橋 峯男 会員

1940年(昭和15年)7月生まれで、後期高齢者3年目になりました。生まれた翌年の1941年(昭和16年)12月8日に、当時の日本海軍がハワイの真珠湾を攻撃し、日米戦争に突入しました。戦前・戦中・戦後と生きてきて現在に至っております。

社会人になってから55年を経過しました。日本経済の発展と共に大きな経済的・社会的な出来事もおこりました。記憶に残っている事を述べてみたいと思います。

エネルギーと人口問題です。エネルギーの元である原油の急激な値上がりが起こりました。いわゆるオイルショック(石油危機)と言われた現象です。第一次・第二次・第三次と約30年間で3回にわたって起こり日本経済に大きな影響を与えました。更にレアアース・レアメタルの禁輸問題も起こりました。

その間世界の人口は増加し続け戦後の50年間で25億人から60億人と2倍以上に増加し、過去の歴史から比較してその増加率が急上昇しております。はたしてこのまま推移したら地球上の人類は大丈夫なのかと言った疑問がわいてきました。

このまま地球上の人口が増加し続けるのか、限界がやってきて大きな災害がおきるのか心配が尽きません。

●内部卓話「お墓と相続の話」

鈴木 一生 会員

◆お墓、墓地は相続財産？

お墓や墓地、仏壇仏具等は「祭祀財産(さいしぎいさん)」と呼ばれ、相続税の対象にはならないとされています。また、墓地は通常の不動産としてではなく、あくまで永代に渡り使用していく権



利を持っているということなので、不動産取得税や固定資産税もかかりません。

◆祭祀財産（さいしざいさん）とは？

祖先等を祀るために使用される財産で、墓地、墓石以外にも、仏壇、位牌、家系図などを指します。また、「相続財産」とは切り離されるので、共同相続の対象とはされず、継承者は1人に限定されます。

◆お墓や仏壇仏具で相続税対策？

先ほどこれらの物は相続税の対象とならないという説明を致しましたが、いくつか注意点がございませぬ。お墓や仏壇等を買う費用を現金で残した場合、その現金は当然 相続税の対象となります。また、被相続人の死亡時点で代金が支払われていない場合は、納品がされていた場合でもその代金は相続税の対象となります。余談ですが、世間で話題の「金のお鈴」の購入を検討する方が増えているのはこの相続税対策が理由です。ただ「金のお鈴」は、あくまでお鈴として使用していることが認められなければ、例えば貸金庫やご自宅の床下などにしまっている場合などは商品、骨董品などとして扱われ、相続財産とされるようす。

◆継承する人は誰？

お墓を引き継ぐことを「継承」と呼び、引き継いだ方を「継承者」と呼びます。一般的に長男や長女が引き継ぐイメージはあると思いますが、その決定方法は

①遺言があり、遺言で継承者を指定

基本的に遺言書の内容に従います。

②遺言はあるが、遺言で継承者を指定していない場合、または遺言がない場合

被相続人が、生前に口頭で指定している方が継承者となります。

③被相続人が、継承者について何も伝えていなかった場合

その地域の慣習や、その家に伝わる慣習に従います。

④地域の慣習、家に伝わる慣習がない場合

相続人同士で話し合いをして継承者を決定します。その際に、長男や長女が引き継がなければならないという訳ではなく、話し合いがまとまれば継承者は誰でもよいこととなっています。

墓地管理規定などで三親等以内の親族などで定められているケースも多々ありますが、最近はお墓を継ぐ方がいないケースが増加しているため、親族以外を認める墓地霊園も増加しているようす。

継承者は墓地や霊園に「名義変更手続き」を行うこととなります。

◆承継者がいない場合

お墓を承継する方がいない場合、「無縁墓」とされ撤去されます。撤去に至る流れは、

①管理費が未納となり数年が経過

②利害関係者に対し、お墓撤去の旨を1年間公告(官庁や公共団体が広告・掲示などで告知)

③申し出がない場合に撤去

ただし、費用負担の問題などで無縁墓は増加傾向にあるとされており、管理の届かない荒れた墓地霊園は増えると思われませぬ。現在 目先の価格の安さから樹木葬がもてはやされていますが、これらも数十年先になれば管理が行き届かず荒れてしまうであろう、という指摘もありますので、これら無縁墓の問題は中長期的に取り組まなければならない課題となっております。最近では、古い市街地の再開発事業のように、荒れた墓地の再開発、区画整理等を専門に行っている業者も存在し、石材業界としても新たな動きが生まれつつあります。

●内部卓話

植田道弘 会員

私は学生時代に陸上部に所属しておりましたので走ることは好きな方です。しかし年月を重ねるうちに走ると言えば仕事中に現場で走る程度のもので、体を動かすこと自体、無くなっておりました。

岡山でマラソンが開催されるようになって今回は3回目でした。第1回目、第2回目のおかやまマラソンを間近で見ると『次は出てみようかな』という気持ちにはなっておりました。しかし、岡山マラソンに出場するにはまずは応募しなければ始まりませぬし、そして抽選に当選しなければ走ることは出来ませぬ。

実際に、『応募する』ことについてはかなり躊躇しておりましたが、ある日、取引先のお客様とおかやまマラソンの話で盛り上がりすぎてしまい、一緒に出よう、マラソンに出なかつたら今後は取引中止と無茶な話をされてしまい、気持ちの整理がつかないまま、応募してしまいました。

応募から2か月後、『当選』を通知するメールが来てしまい慌ててお客様に電話したところ、応募すること、を忘れたとのこと。結局、一人で出ることになってしまいました。

何年も走っていないかつたので、体力・筋力がないことはよくわかっておりました。考えたのは、筋肉をつけるためにジム



に行こう、ジムに行くためのシューズとランニングウェアを買おう。最初の行動はスポーツショップでの買い物でした。そうです。私は格好から入るタイプなのです。ショップで足のサイズを測ってもらおうと右足が24.1cm、左足が23.8cmで男性用の靴のサイズがありませんでした。女性並みの足のサイズであることを知ったときはショックでしたが女性用の靴で走るわけにはいかないので男性用の24.5cmのシューズを購入しました。

週に1度通ったジムではすぐに太ももや腕が痛くなり、外で道路を2km走っただけで足腰が悲鳴をあげていました。本番までに走った最長距離は4km。前日は緊張のせい、たいして眠れずに当日を迎えました。

スタート時間15分前には列に並び、さあ走るぞ!と思っていたところ遠くのほうでスタートの合図が聞こえました。後ろの方に並んでいた事もあり、実際にスタートラインを超えたのは先頭がスタートしてから約10分後でした。会場の雰囲気・沿道の声援に後押しされる中、とても楽しく5km、10km、15kmと走り始めましたが、20kmを超えるころからさすがにきつくなってきました。足に違和感が出始め、歩いて、走ってを繰り返しておりましたが、走りきると同じ目標をもって走っている人達がいることで一歩、一歩と前へ進むことが出来ました。

スタートから5時間50分後、何とかゴール6時間以内にゴールできなければ失格というプレッシャーをはねのけ完走することが出来ました。最後は気力で歩き、足と体はいうことをきかない状態でしたが、とても満足できました。その後しばらくは体全身を患うことになりましたが、時間が経つと苦しかった後半も良い思い出に変わり、痛かった両足も順調に回復しており、来年も出ようかな、とさえ思っております。

ちなみに一緒に出ようと言ってくださった取引先のお客様からは未だにおめでとうの一言もありません。

クラブ情報

退会のご挨拶

一身上の都合により月曜日の例会に参加させて頂くことが出来なくなりました。大変申し訳ありませんが樋口幹事へ退会の申出をしたところであります。

私は野球同好会に席を置かせて頂きましたが、思い出深いのは香川県の私の家の近くのレクザムスタジアムで高松西RCと試合が出来たことです。当日は孫に「じいちゃんのユニホーム姿」を見せてやる事が出来ました。試合の方では先発した笠原会員とキャッチャーの私、二人合わせて128歳バッテリーが組めました。惜しくも1点差で負けてしまいました思い出深い1日でした。またその試合から次の試合にかけての「4打席連続死球」もまた忘れることができません。

心残りは来年度、参加する予定でありましたロータリークラブの全国野球大会に参加できなくなったことです。遠く四国から、野球同好会の全国大会でのご活躍をお祈りいたします。

皆様、短い間でしたが大変親切にして頂き、ありがとうございました。

熊野 俊策 会員



キャッチャー 熊野会員



熊野さん ありがとうございました。野球同好会一同

例会情報

本日のメニュー (11月27日(ミリオンダーラミール))

- 豚肉のキーマカレー
- 牛蒡のバルサミコ風味のサラダ
- デザート コーヒー

次回のメニュー (12月4日)

- ローストビーフと焼き茄子のサラダ
- マンガリッツァポークのローストとカラスミ 温野菜を添えて
- デザート コーヒー パンとバター



前回メニュー(11月20日):
魚の木の子餡掛け